

オリンピック・パラリンピック課の 取組について

平成30年度第3回埼玉県スポーツ推進審議会

県民生活部 オリンピック・パラリンピック課

課長 斎藤 勇一

聖火リレー

○オリンピック聖火リレー

➤ 実施概要

- ・割当日数 3日間
- ・期 日 2020年7月7日(火)～9日(木)

➤ これまでの県取組

- ・県聖火リレー実行委員会を設置(2018年7月)
- ・以下の基本原則を確認し、県内ルート案を選定、組織委員会に提出(2018年12月)

【基本原則】

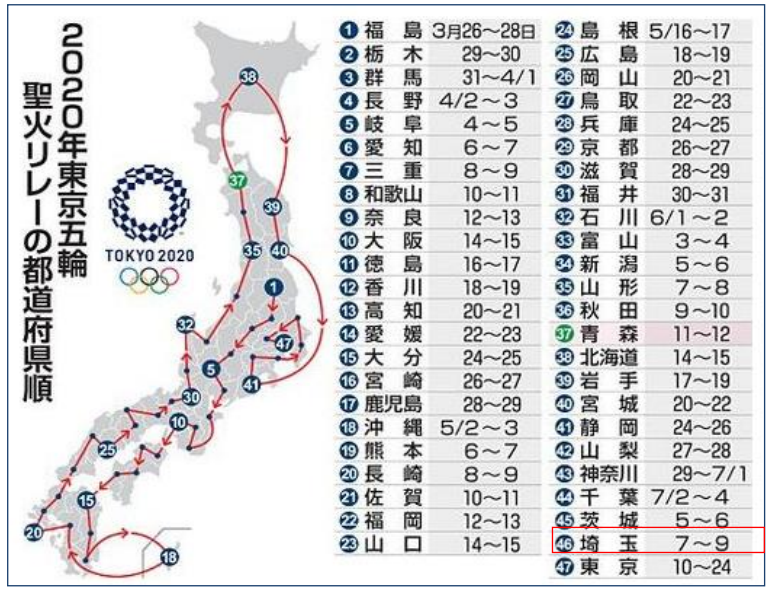
- ・できるだけ多くの市町村を回る
- ・埼玉県の魅力を内外にアピールできるようにすること
- ・安全確保を前提に多くの県民が観覧できるようにすること

➤ 今後の流れ

- ・2019年 夏頃 (組織委員会) 全国のルートを発表
- 夏～秋 (県)ランナー公募・選考

➤ ランナー選定について

- ・選定基準は、全国のルート公表後に示される予定
- ・県やスポンサーが選考した候補者を含むすべてのランナーを組織委員会が取りまとめ、I O Cの了解を得て決定
- ・ランナー数は1日当たり「80～90名」が目安
- ・都道府県実行委員会の割り当ては、全体の約4分の1



○パラリンピック聖火リレー

➤ 実施概要

- ・開催都市である東京都のほか、競技会場のある3県(埼玉県、千葉県、静岡県)で実施する。

- ・競技会場県(埼玉県、千葉県、静岡県)
採火式、聖火ビジット、**聖火リレー**、出立式
- ・東京都
採火式、集火式、聖火ビジット、**聖火リレー**
- ・43道府県
採火式、聖火ビジット、出立式

- ・具体的な手順、今後のスケジュール等は、今後組織委員会から示される予定。

気運醸成事業（カウントダウンイベント）

2018年度の取組

○オリンピック2年前イベント

- 日程 7月21日（土）・22日（日）
- 会場 越谷レイクタウン
- 開催ポイント
 - ・民間企業と連携し、国内最大級のショッピングモールで開催
 - ・豪華ゲストによる盛り上げや多彩な競技体験

来場者
約51万人

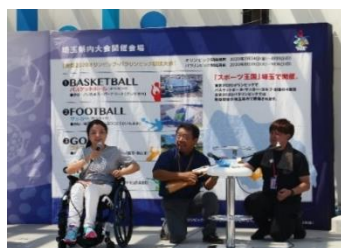
○パラリンピック2年前イベント

- 日程 2018年8月25日（日）
- 会場 ららぽーと富士見
富士見市立市民総合体育館
- 開催ポイント
 - ・パラリンピックを理解できる20以上のブース
 - ・パラリンピック競技体験

来場者
約5万人



県ゆかりの多くのゲストが登場



パラリンピックを知るトークショー

2019年度の取組

オリンピック1年前イベントを皮切りに、約1か月間、県内各地でイベントを開催

○オリンピック1年前イベント

- 開催1年前の節目に、民間との連携による国内最大級のイベントを展開し、大会への期待感を一気に高める。
- 日程 7月20日（土）・21日（日）
- 会場 越谷レイクタウン（越谷市）

○オリ・パラ1年前月間イベント（仮称）

- 県内各地のショッピングモールなど10か所で開催し、県内各地にオリパラ熱を波及させる
- 日程 7月27日（土）～8月25日（日）間の土日
- ※ この期間を「オリ・パラ1年前月間」と位置付ける



気運醸成事業（体験イベント、広報）

○小中学生向け競技体験イベント

- オリンピアン、アスリートが子供たちに直接指導
- メニューは「バスケットボールクリニック」、「各校独自企画に対する支援」、「JOCオリンピック教室」など
- 2018年度は25校で実施→2019年度は30校に拡大



バスケットボールクリニック
（本庄市立児玉小）
埼玉ブロンコスによるバスケ教室



各校独自企画
（加須市立大利根中）
新体操 坪井保菜美選手による
講演、実演

○各種媒体での広報

- テレビ・ラジオ番組、映画館CM、Facebookなど様々な媒体を活用したPRを実施

広報媒体	2018年度		2019年度（予定）
テレビ （テレ玉）	週一5分番組×24回 （2018.10～2019.3）		週一5分番組×24回 （2019.10～2020.3）
ラジオ（NACK5）	週一10分番組×27回 （2018.7～12）		週一15分番組×39回 （2019.7～2020.3）
彩の国だより	偶数月1 / 6ページ 特集号9月・4ページ		継続 ※特集号実施月は調整中
映画館CM	10館 （2018.7～12）	県内全23館 （2019.3.15～28）	10館 （2019.7～12）
スマホアプリ	ポケットブック「まいたま」 「埼玉で開催！Tokyo2020」サブアプリ（2018.5～）		継続
ラッピングバス	12台（2019.3.12～）		継続
シティドレッシング	-		会場最寄駅周辺の装飾（年度後半～）
屋外広告塔	-		主要道路8か所（2019.11～）

ボランティア事業（都市ボランティア）

2018年度の取組

○都市ボランティアの募集

観戦客が利用する駅周辺などで、競技会場までの道案内や埼玉の魅力PRなどを行う「都市ボランティア」を募集した。

- 募集期間 8月16日（木）
～9月30日（日）
- 募集人数 5,400人
- 応募者数 9,650人
- 採用人数 5,400人



○説明会・基本研修

活動内容や今後の研修予定を説明するとともに、吉本芸人を起用し、「人を笑顔にする」ための講演、座談会を実施した。

- 日程 平成31年1月22日(火)、27日(日)、29日(火)
2月2日(土)、24日(日)
- 会場 埼玉会館ほか5会場
- 回数 計13回実施



吉本興業の芸人による
「おもてなし講演会」

2019年度の取組

○研修の実施

「世界に誇れるおもてなし」の実現に向け、応募時の意気込みを大会本番まで維持できるような楽しさと、自ら学びたい内容を盛り込んだ研修を実施する。

- 選択型研修
豊富なメニューから、ボランティア自身が選んで受講できる研修
- 普通救命講習
心肺蘇生法や熱中症の対応などを学ぶ
- リーダーシップ研修
リーダーに必要な心構え、コミュニケーションスキル等を学ぶ

○暑さ対策の検証

イベントの際に、仮設の休憩所や直射日光を避ける日よけの設置など、暑さ対策を試験的に実施し、本番に向けて課題を検証する。



仮設休憩所



日よけテント

ボランティア事業（環境美化）

○啓発用ゴミ袋の作成

東京2020大会に向けた美化活動を後押しするため作成。

➤ 2018年度の活用事例

- ・地域での一斉清掃（川越市、行田市、鴻巣市、和光市、新座市、久喜市）
- ・クリーンタイム（中学校体育連盟、高等学校体育連盟）
- ・スポーツと健康づくりを兼ねた清掃活動（スポGOMI大会、Jリーグウォーキング）

→ 2019年度も継続して作成し、市町村に配布する。



啓発用ゴミ袋

○スポGOMI大会の開催

スポーツ感覚でごみを拾い、質と量で競い合うイベント。

➤ 2018年度はシンボルイベントとして、オリンピック2年前イベントに合わせて実施

- ・日程 2018年7月22日(日)
- ・会場 越谷レイクタウン駅及び大相模調節池周辺

→ 2019年度は市町村と共催で実施する。



チームでゴミ拾い



達成感ある閉会式

○クリーンタイムの推進

スポーツイベント等の終了前に、観客や選手が行う会場内の一斉清掃。

➤ 2018年度の実施団体

- ・中学校体育連盟（学校総合体育大会（県大会）及び新人体育大会（県大会）で実施）
- ・高等学校体育連盟（ 新人大会、定時制通信制総合体育大会等で実施）

→ 2019年度も継続して、市町村や競技団体のスポーツイベント等での実施を推進する。



選手によるゴミ拾い

○飾花の促進

2019年度から、夏の花で県内を彩る取組の促進に向け、暑さに強い花の種の配布などを検討する。



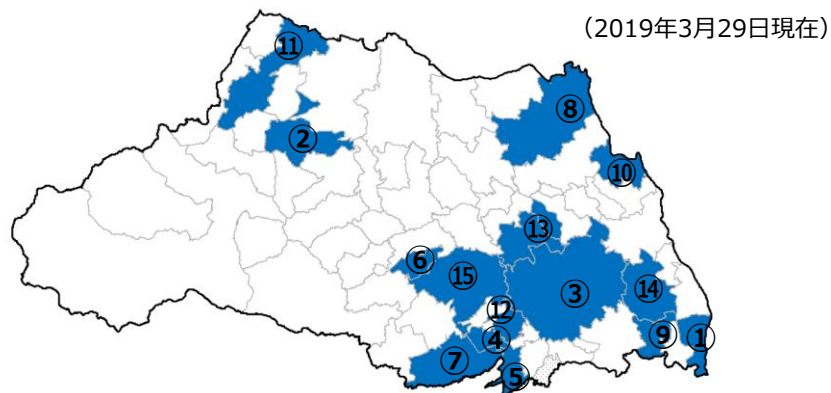
啓発用花の種

キャンプ誘致・宿泊対策事業（事前トレーニングキャンプ、ホストタウン）

○キャンプ誘致・ホストタウン登録の推進

選手が大会直前のコンディション調整のために行う「事前トレーニングキャンプ」を積極的に誘致するとともに、参加国と様々な相互交流を行うホストタウン（国が認証）への登録を推進している。2019年度も引き続きキャンプ誘致とホストタウン登録を推進する。

▶ キャンプ誘致決定・ホストタウン登録状況



	国名	自治体名	キャンプ決定	ホストタウン登録
①	ギリシャ	三郷市	—	○
②	ブータン	寄居町	○	○
③	オランダ	さいたま市	○	○
④	オランダ	三芳町	—	○
⑤	ブラジル	県・新座市	○	○
⑥	ミャンマー	鶴ヶ島市	○	○
⑦	イタリア	県・所沢市	○	○
⑧	コロンビア	県・加須市	○	○
⑨	コロンビア	草加市	○	—
⑩	ベナン	幸手市	—	○
⑪	トルコ	本庄市	○	○
⑫	セルビア	富士見市	—	○
⑬	オーストラリア	県、上尾市、伊奈町	○	○
⑭	ポルトガル	越谷市	○	—
⑮	タイ	川越市	○	—

▶ キャンプ地・ホストタウンでの交流(2018年度)

寄居町(4月)
ブータン王国



ブータン初の陸上全国大会の開催を支援、高校生2名を派遣

加須市(10月)
コロンビア共和国



世界選手権に向けて事前合宿を行ったウエイトリフティングチーム

新座市(11月)
ブラジル連邦共和国



ブラジルオリンピック委員会主催のユーススクールゲームに選手を派遣

▶ 2019年度事前合宿実施予定

	国名	市町村名	競技種目
②	ブータン	寄居町	陸上
④	オランダ	三芳町	柔道
⑤	ブラジル	新座市	陸上、オープンウォータースイミング、空手
⑥	ミャンマー	鶴ヶ島市	陸上、競泳、柔道
⑦	イタリア	所沢市	競泳
⑧	コロンビア	加須市	ボクシング、柔道、陸上、サッカー、ウエイトリフティング
⑨	コロンビア	草加市	パラリンピック競泳
⑬	オーストラリア	上尾市・伊奈町	柔道
⑭	ポルトガル	越谷市	卓球

キャンプ誘致・宿泊対策事業（埼玉県版ホームステイ）

海外選手の家族や大会関係者が、日本の暮らしを体験しながら埼玉の魅力を感じる、本県独自の取組。

- 実施期間 2019年4月～2020年9月まで
- 受入人数・泊数 1家庭1回当たり 1人～3人まで、1泊～3泊まで
- ゲスト対象 選手の家族、オリンピック委員会、パラリンピック委員会、競技団体の関係者、
海外の報道機関の関係者、海外から参加する大会ボランティア

2018年度の取組

○ホストファミリーの募集

- 登録件数 約670件

○海外プレス、大会関係者向けホームステイ体験ツアーの実施

- 日程 2019年1月12日（土）
～13日（日）
- 参加者
 - ・ブラジル、デンマーク、ドイツ、台湾のメディア関係者
 - ・コロンビア、イタリアの大使館関係者参加



ホームステイ体験ツアー

○ホストファミリー向け研修会の実施

- 日程 2019年1月27日（日）
～3月24日（日）
- 会場 浦和合同庁舎ほか5会場
- 回数 16回（基礎、専門8回ずつ）
- 内容 ・埼玉県版ホームステイについて
・食中毒の予防
・食事提供における宗教的配慮について など



ホストファミリー向け研修会

2019年度の取組

○ゲストの募集開始

- 県と関係が深い国を中心にPR開始
- 随時ホームステイを実施し、課題を検証する

○海外プレス、大会関係者向けホームステイ体験ツアーの実施

- 大使館職員やメディアを対象に、県内視察とホームステイをセットにしたツアーを実施し、海外向け発信につなげる

○ホストファミリー向けテーマ別研修の実施

- ゲストが病気やけがになった時の対応 など

